

# 会 議 録

1. 会議の名称           【高齢者保健福祉推進委員会専門部会】  
                          地域包括支援センター運営部会
2. 開催日時           令和4年2月28日（月）   13時30分～15時00分
3. 開催場所           熊取ふれあいセンター1階健康づくり室+オンライン
4. 議題                案件①令和4年度の事業計画・収支予算（案）について  
                          案件②指定介護予防支援の一部を委託する指定居宅介護支援事業所に  
                          ついて  
                          案件③その他
5. 公開・非公開の別   公開
6. 傍聴者数           0人
7. 審議等の概要

## 案件①令和4年度の事業計画・収支予算（案）について

- 「地域包括支援センター」説明
- 審議結果
  - ・以下の審議内容のとおり、質疑・意見があり、この意見に基づき、事業計画（案）を修正し、令和4年3月31日開催の高齢者保健福祉推進委員会へ報告を行う。
- 審議内容
  - (運営部会員)
    - ・事業計画について、年度途中ではあるが、令和3年度の振り返りをし、その反省内容を盛り込むステップを踏んでほしい。
  - (事務局)
    - 毎月、町と地域包括支援センターで定例会議を行っており、事業計画策定にあたり1月・2月の会議で、反省と次年度の計画について協議を行っている。
  - (運営部会員)
    - 資料としてそれが分からないため、令和3年度実績及びそれに対する令和4年度見込みという形で事業計画の中に落とし込んでほしい。その際に定例会議の際に話し合った内容を反映してほしい。
  - (運営部会員)
    - ・見込みの数値がいくつか入っているが、まだ見込み数値を入れられる項目があると思う。実績をもとにした見込み数値を明記し、その数値通りに推移しているかなどをチェックしながら仕事をしていくことが必要であり、数値目標を念頭においた計画ということで考えてほしい。
  - (運営部会員)
    - ・重点事業の中に「フレイル」という文言が入っていないが、これに対するアプロー

チはなくていいか。

(事務局)

→コロナフレイルをどのように把握していくかが重要で、町では去年から医療と介護の一体化事業により健診や窓口の申請の機会をとらえて、基本チェックリスト等で状態を確認し、一般介護予防事業や介護予防の自主グループにつないでいる。要支援の方にはふれあい元気教室の利用による機能の改善をしてもらえるようフローチャートを作り、今後それを進めていきたい。ふれあい元気教室は窓口でそういった方を捉えていくということで令和4年度には2クールから3クールに増やし対応していく。フレイルはもちろん要支援の人も要介護状態にならないようにしていきたい。

(運営部会員)

→この内容を重点事業の「自立支援・介護予防の推進」に入れて内容を充実化させてほしい。

(運営部会員)

- ・今後も新型コロナウイルスの影響が続くことを考え、MCS や Zoom に限らず、ICT の活用をもっと幅広く考えてほしい。確かに LINE は個人情報扱う上では難しいが、個人情報の伴わない情報を発信するだけであれば使うことができ、自宅でできる体操等を YouTube で見ることもできる。Zoom は高齢者にとってハードルが高いが、LINE は使っている人も多い。令和4年度はそういったことも町と検討してほしい。

#### 案件②指定介護予防支援の一部を委託する指定居宅介護支援事業所について

○「地域包括支援センター」説明

○審議結果

- ・委員全員の挙手により承認（11 番の事業所が既に廃止されているのではないかという質疑があり、状況確認の上、令和4年3月31日開催の高齢者保健福祉推進委員会へ報告を行う。）

#### 案件③その他

○特になし

8. 審議会の情報	名称	【高齢者保健福祉推進委員会専門部会】 地域包括支援センター運営部会
	根拠法令等	高齢者保健福祉推進委員会規則 地域包括支援センター運営部会設置要綱
	設置期間	平成28年7月4日～
	所掌事項	地域包括支援センターの適切な運営、公正中立性の確保、その他センターの円滑かつ適正な運営に関する事務。
	委員数	10名以内
9. 担当課	介護保険課	